

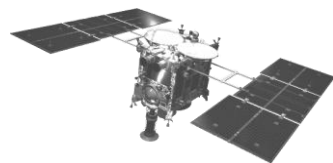
松江市立天文台～2月の天文教室～

平成31年2月27日

2月下旬午後8時頃の星空～



2月下旬午後8時頃の星空です。
月は翌日午前2時過ぎに昇ってきます。
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

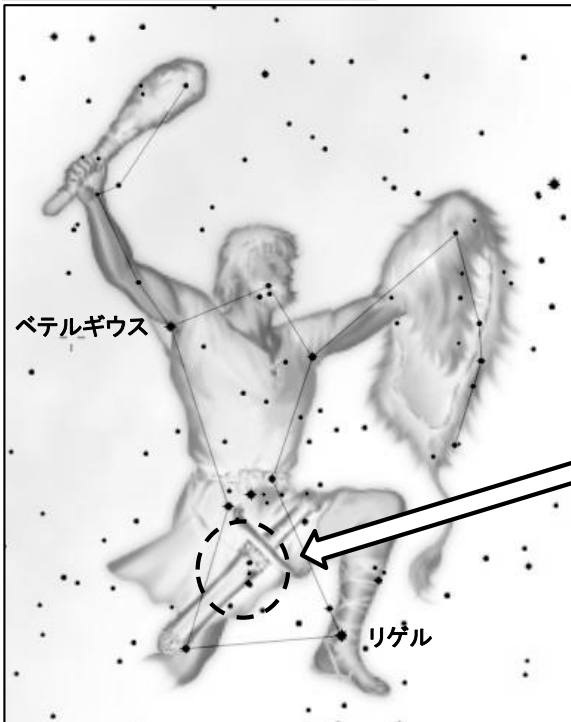


はやぶさ2小惑星りゅうぐうに着陸成功！！

日本の小惑星探査機はやぶさ2が、2月22日小惑星りゅうぐうへの着陸に成功しました。
この後ははやぶさ2は、いくつかのミッションを経て、東京オリンピックが開催される2020年の年末ころに地球への帰還を目指しています。

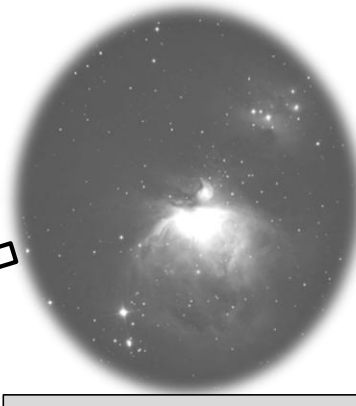
冬の星座をさがしてみよう

オリオン座



ギリシャ神話に登場する狩人オリオンを表す冬の代表的な星座で、1等星のベテルギウスとリゲルをはじめ明るい星が多いのですぐにみつけられます。

ベテルギウスはおおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンとで冬の大三角を形作っています。



M42オリオン座の大星雲
松江星の会 古都さん撮影

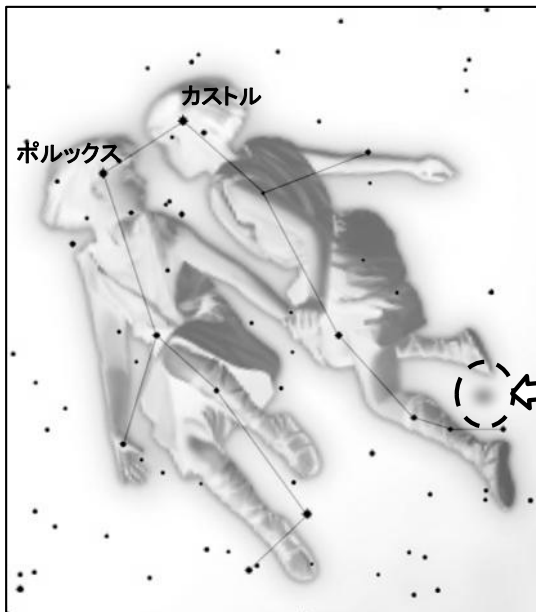
M42は、オリオン座の大星雲とも呼ばれ、地球から1300光年の距離にあります。(天文年鑑より)

宇宙空間のガスやチリが近くの星の光で輝いている散光星雲に分類されます。

最近の研究で、この星雲の中で多くの星が生まれつつあることが分かってきました。

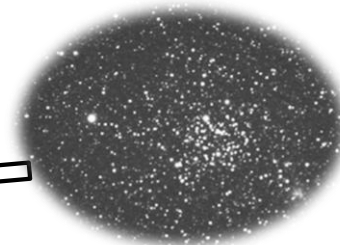
双眼鏡でも鳥が羽を広げた美しい姿がわかり、天体望遠鏡では星雲の複雑な構造も観察できます。

ふたご座



オリオン座の左上に見えるふたつの明るい星が、ふたご座のカストルとポルックスです。

ギリシャ神話では、数々の戦いに参加した双子の兄弟で、彼らの名前がそのまま星の名前になりました。



M35散開星団

M35は、多くの星が集めた天体で、このような天体を散開星団といいます。

M35の場合はおよそ120の星が集まっていると言われています。

双眼鏡でもその存在がわかり、天体望遠鏡では視野いっぱい星がひろがって見えます。

地球からの距離は2570光年といわれています。(天文年鑑より)

天体望遠鏡のしくみにより、視野の上下左右が逆に見えることがあります。また、空や大気の状態により見え方は違いますので、ご了承ください。

次回の天文教室

開催日 3月27日(水) 20時から21時まで

(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)

事前の予約は不要です。



Matsue Astronomy Club
MAC 松江星の会